

経済活動と法

教科	商業	単位数	3	学科・学年・コース	2年 流通コース
使用教科書	「経済活動と法」(実教出版)		副教材等	「経済活動と法」問題集(実教出版)	

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 経済活動に必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得します。
- ② 経済社会における法の意義や役割を理解し、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

民法を中心に、経済活動に必要な法に関する知識を学びます。せいねんこうけん 成年後見制度、代理、ばいばいけいやく 売買契約とたいしやく 貸借契約、利息の制限、保証人や物的担保の制度、消費者の保護に関する法律、不法行為、労働、親族、相続など難しそうですが、法律関係において今後の生活に役に立つことを学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 5	1. 経済社会と法 2. 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動や社会規範において法の意義や役割について理解する。 ・ 権利・義務の意義、権利行使の限界、権利の主体としての自然人と法人及び物と財産権の意義や種類について理解する。
6 9	3. 財産権と契約そしてその保護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物の売買や貸借など、財産権の変動が主に契約によって行われること、さらに財産権の侵害と保護及び物的担保と人的担保について理解する。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】【前期期末考査】</p>
10 12	4. 企業活動に関する法 5. 取引に関する法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業活動全般のルールや株式会社について、法律の面から理解する。 ・ 手形・小切手の制度と法律上の要件及び金融取引の現状、課題について理解する。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2	6. 企業の責任と法 発展学習 家族と法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の法令遵守や説明責任の重要性、かしこい消費者であることの意義、労働に関する法や紛争の予防と解決に関する予防的司法制度について理解する。 ・ 社会生活の基盤としての家族について、法律関係の観点から理解する。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	経済生活やわれわれの市民生活が安定的に営まれていることは、法の存在による「法化社会」であるからである。従って、法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに気づき、意欲的に学習しようとしているか。
思考・判断・表現	ある事象の解釈について、また、条文などの生成過程や立法の趣旨を理論的に思考し、自らが判断したことをどのような方法で表現することができるか。
技能	新聞記事や事例などが「法化社会」でどのように扱われ、条文とどのように関連しているかを具体的にとらえることができるか。
知識・理解	経済活動や市民生活が法と密接に関連性していることを理解し、今後生活していく上で活用できる知識を得ることができるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ① 授業中における学習態度 ② ノート、プリント等の提出物の内容 ③ 定期考査 ④ 検定試験
また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「経済活動と法」では、経済生活に必要な法規の基礎的・基本的知識をできる限り身近な事例を取り上げながら学習します。